

放射線技術総合学術大会にて優秀賞表彰

JART 第 27 回診療放射線技師総合学術大会において、本会会員・横須賀共済病院の大石小太郎氏が、

一般演題示説発表の部でその内容が高く評価され、優秀賞表彰されました！

発表内容は、平成 16 年から活動を継続してきた、本会の誇る精銳 NAS チームの活動報告と、NAS チームが一昨年より提唱してきた、原子力災害時のスクリーニング技法「セグメント法」の有用性について検討したものでした。

口述発表含め 250 演題ほどの中から 3 題が表彰され、その中の 1 題であり非常に喜ばしきことです。

【テーマ】「原子力災害時サーベランスに於ける「セグメント法」の有用性」

横須賀三浦放射線技師会 NAS (原子力災害特別派遣) チーム

横須賀共済病院 大石小太郎 濱田順爾 相ヶ瀬あゆ子 沼田恭一

横須賀市立うわまち病院 児玉康彦

湘南病院 三嶋喜三夫

横須賀市健康づくり課 井上晴行

横須賀市地域医療推進課 宮村聖也

現在N A Sチーム代表・本会被ばく医療担当理事として活躍する大石氏は、

「今回、N A Sチームを代表して発表してきました。このたびの東日本大震災における福島第一原発事故に対する災害派遣の場で我がN A Sチームのメンバー多数が活躍したという誇らしき事実が、全国レベルで周知されたと思いますし、同時に、我々のこれまでの活動が間違っていなかったことを実感しました。」
と語りました。

(記事 広報・濱田)

